

令和 2 年 7 月 熊 本 豪 雨 災 害

河川名：一級河川「球磨川」の氾濫状況

発生日：令和 2 年 7 月 3 日～4 日深夜～

資料提供：熊本県支部（人吉市在住）

報告者：防災士 白石忠志 （番号 0 7 7 0 8 6）

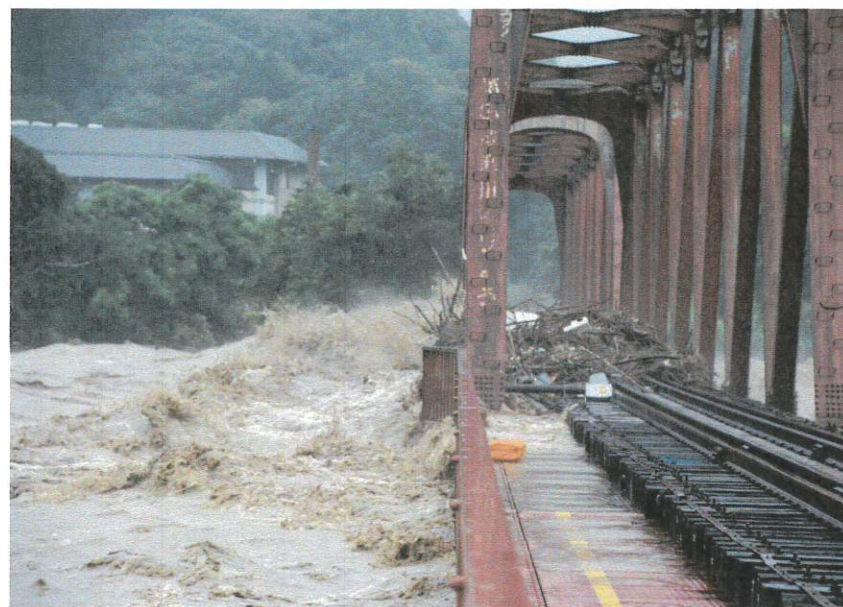


◇◇◇ 令和2年7月熊本豪雨 ◇◇◇

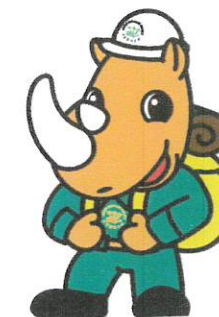
人吉市・球磨村の災害被害の現状報告



国宝・青井阿蘇神社(7月4日)



JR肥薩線球磨川第三橋梁



令和3年10月9日

NPO法人日本防災士会熊本県支部(人吉)

077086 白石 忠志

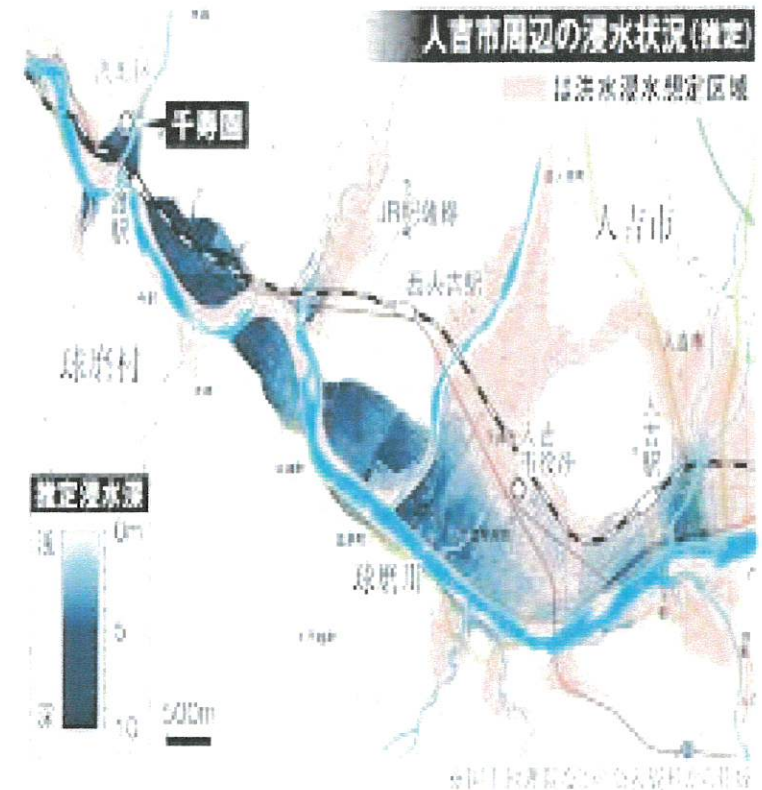
令和2年7月豪雨の概況(7月3日～4日)

【24時間降水量(最高値)】

・湯前町	489.5mm
・あさぎり町	463.5mm
・球磨村	455.5mm
・山江村	453.0mm
・人吉市	410.5mm (月平均降水 471.0mm)

【球磨川の最高水位】・(昭和40年水害との比較)

	令和2年7月	昭和40年7月
・人吉市	6.12m (+1.07m)	5.05m
・球磨村	12.88m (+2.68m)	10.20m
・相良村	8.07m (+2.67m)	5.40m



令和2年7月豪雨被害の状況(令和3年8月末現在:県集計)

【人的被害】

単位 人

市町村別	人吉市	球磨村	郡内関連死含む
死 者	21	25	47
負傷者	17	2	19
行方不明者	0	0	0

【住家被害】

単位 棟

被害種別	人吉市	球磨村	郡内
全 壊	902	332	1,265
半 壊	1,449	74	1,751
床上浸水	269	0	270
床下浸水	152	0	221
一部損壊	303	51	676
合 計	3,075	457	4,183

球磨川氾濫で中心市街地が水没



球磨村渡地区の被害模様

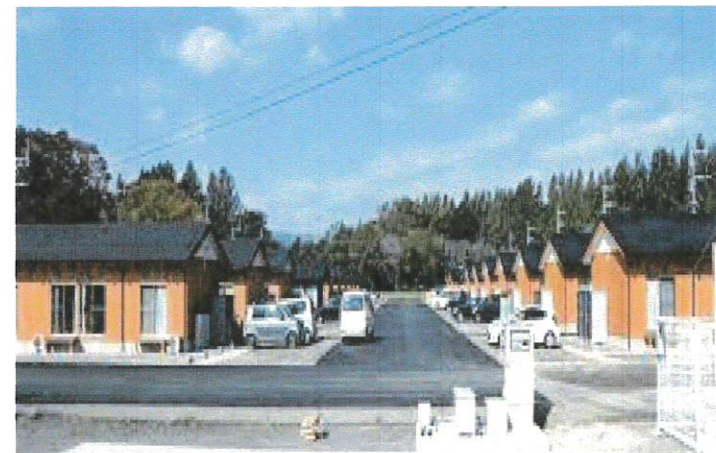
り災世帯・罹災者

単位 人

	人吉市	球磨村	郡内全体
り災者世帯	2,985	505	3,773
り災者数	6,123	1,277	8,158

人吉市仮設住宅設置場所

仮設住宅団地名	住所	戸数	入居開始
人吉城趾仮設団地	麓町37番地	15	8/22
村山あやめ広場	城本町700番地	16	9/上
梢山グランド	鬼木町1769番地	33	9/上
下原田第一	下原田町2130番地	18	9/中
下原田第二	下原田町2160番地4	11	9/下
西間上町	西間上町2607番地1	51	9/下
石野公園	赤池原町1426番地1	37	10/中
村山公園	瓦屋町1576番地	84	10/中
合 計		265	



村山公園

球磨村仮設団地

	球磨村仮設団地	戸数 (戸)	人数(人)	入居開始
1	多目的広場	33		8/2
2	グラウンド	113		10/10
3	さくらドーム	35		9/15
4	大王原公園	88		10/24
	合計	269		



1、多目的仮設住宅



2、グラウンド仮設住宅

日本防災士会熊本県支部の災害活動(8月8日)



午前9時5分



2020年(令和2年)8月10日 月曜日 (2)

家屋片付け懸命に

日本防災士会
熊本県支部 上新町で支援活動

NO.1防災士 に関する知識や技能を、その経験や知識を、
熊本県支部(常) 有し、地域力向上
正支部長は8月 のリーダーとして期待
7月の豪雨災害、手 されている。
付かずの状態だ。人 熊本県支部には現在
市上野町の豪雨家 約150人が所属し、
財源の運び出しなど 熊本地震でも支援活動
支援活動に汗を流し に取り組んだ。
た。
防災士は、日本防災 今回、支援活動には
士機構が認定する民間 県内から8人が参加。
午前中、球磨川第三 昨(8)日、午前4時
の資格で、被災防災 4時の発動時に、
ミル、水、お湯、袋 避難して無事だった。

が、体調不良で、断 したため、寮に泊
の老人保健施設に所 近く付分のまど
手付かずの家から家具を運び出す会員防災士
なっていた。
家の中は泥めれた
臭いが立ち込め、
会員たちは窓外して
発電機と扇風機を使っ
て換気対策しながら
作業を開始。雨の家
具類を庭に出し、ス
リッパで砂を取り除い
た。
この後は、大雨災
害で、市上野町に
1に依頼して片付け
を進めている。
常支部長(68) 熊本市上野町は、熊本地
震の被災活動は4月だ

だが、今回は、家が びびり、
お、臭い、あつて地
震は、被災者。コ、
口封鎖、仲間、

地元紙が熊本県支部防災士の災害活動の様子を伝える記事

災害の原因

- ・ 線状降水帯が長時間にわたり、同一場所に次々と発生したことで大量の雨が本流球磨川及び支流から流れ込み、河川が増水し、河口の八代海までの球磨川流域が氾濫、未曾有な被害が発生した。

被害の人的特徴

- ①令和2年7月豪雨災害による死者は80名(65名の内、屋内:45名、屋外:20名)
(8月30日現在災害関連死を除く。球磨村・25名、人吉市・20名、芦北町・11名ほか)
- ②65歳以上の高齢者が熊本県全体では、約85%を占めた。
- ③死者の約81%の方が水害の犠牲となった。残りは土砂災害
- ④死者のうち、屋内で亡くなれた方が多い。(65名の内、屋内:45名、屋外:20名)
- ⑤屋内で亡くなった(45名)方の約91%が65歳以上である。(65歳以下計9%)

※ 避難の遅れが水害の犠牲となった。

自宅の被害状況



増水のため避難、
この後約1m増水し
た
(午前8時9分)

水位が下がり帰宅直
後(午後0時30分)
国道445号



球磨川と
国道445号
(午前9時26
分)

堤防を越す直
前の球磨川
(午前7時)

